

## 令和元年度 事業計画

### I 基本方針

少子高齢化及び労働力人口の減少など、社会環境が大きく変化する中で、シルバー人材センターに期待される役割はますます重要となっております。こうした中で、働く事を通して健康を増進し、生きがいの充実を図る事と共に新たな仲間との出会いや、社会貢献活動を通して地域社会へ参加する事で生まれる活性化など、シルバー人材センターの理念である「自主・自立・共働・共助」を基本としながら、新たな事業に積極的に取組みを行わなければなりません。

また、仕事以外でも会員同士が楽しく生き生き出来る環境づくりも大切であり、皆様からご要望のあった内容については可能な限り実行に移すなど、これからお示しする計画により、センター事業の柱である会員の拡大を図りながら、新たな事業への対応が可能となるよう運営して参ります。

### II 事業目標値

| 会員数      | 契約金額               | 就業率   | 就業延人員     |
|----------|--------------------|-------|-----------|
| 男性 322 人 | 請負事業 192,000,000 円 | 90%以上 | 48,000 人日 |
| 女性 138 人 | 派遣事業 15,647,000 円  |       | 4,950 人日  |
| 合計 460 人 | 合計 207,647,000 円   |       | 52,950 人日 |

### III 目標達成に向けた実施計画

#### ①会員並びに市民への情報提供

☆仕事・サークル活動など、知りたい情報を発信するために名取市広報への掲載及び公民館へ「情報誌」の設置を定期的に依頼します。

☆河北新報「みやぎ情報コーナー」へ、入会説明会の記事を投稿します。

☆毎月第2・4木曜日の午後1時半から定期的な入会説明会を実施します。

☆地区公民館を使用し、出張入会説明会を実施します。

☆エリアを限定し、役職員による戸別訪問活動を実施します。

☆FM「なとらじ 801」の協力を得ながら、会員募集やイベント情報などを発信します。

☆タイムリーな情報が発信出来るよう、ホームページの更新を定期的に行うほか、SNS（インスタグラム）を活用し、センターの活動状況を広く

周知出来るよう実施します。

#### ②親切・丁寧で明るい対応が出来る事務局体制

☆お客様と会員から信頼を得る事が、就業機会の拡大に直結するものと考え、親切・丁寧で明るく笑顔での対応をモットーに継続して取り組んで参ります。

#### ③就業機会の確保と提供

☆厚生労働省から示されている「ガイドライン」を遵守すべく、発注先と会員への説明を丁寧かつ粘り強く行い、適正な請負・委任・派遣への切り替えを実施します。

☆共働・共助の理念に基づき、偏った就業の提供とならないよう、過去の就業情報を分析した上で、幅広い会員へ仕事の分かち合いを実施します。

☆空家管理や墓守のサービスは、これからのシルバー請負事業として期待が大きい事から遠隔地の方へのPRについては、ホームページを積極的に活用します。

☆「介護予防・日常生活支援総合事業」及び「家事援助サービス」への取り組みは、シルバーの元気な高齢者が生活支援の担い手として支え・自身の予防介護にも繋がる事から、市や他団体と協力し推進して参ります。

☆役員による「就業相談会」を定期的実施し、会員と事務局のパイプ的な役割を担い就業機会の拡大を図ります。

☆入会は望まず就職を目的とされる名取市内の60歳以上の方には、ハローワークと連携し「有料職業紹介事業」を実施します。

#### ④安全就業及び安全衛生の徹底

☆事業開始年度前に「安全就業推進大会」を開催し、岩沼警察署による交通安全講習と、全国及び県内の事故発生状況等を分析しながら、事故のない就業を目指します。

☆全国・宮城県内・当センターの事故発生状況を事務所内に掲示するほか、会員にも情報提供を行います。

☆安全スローガン（安全標語入選作）をセンター倉庫前に掲示するほか、各種連絡文書にも盛り込み意識の高揚を図ります。

☆就業に関し必要な安全講習会等を企画し事故防止に努めます。

☆自分の健康管理は自ら行う事としながらも、名取市で実施する「健康診断」の受診を勧奨します。

⑤各種技能講習会の開催

☆植木剪定、草刈、障子・襖張替え、清掃講習会を開催するほか、宮城県シルバー人材センター連合会が実施する高齢者活躍人材育成事業（講習会）等への参加を積極的に行います。

☆皆様が興味を持たれている「パソコン講習会」、「スマートフォン操作講習会」等、知識のある会員と実現に向けた協議を行います。

⑥人的交流を促進するためにサークル活動等をサポートします。

☆公益法人移行後初のサークルとなった「裁縫クラブ」のサポート。

☆「健康マーじゃん」、「カラオケ」、「将棋」、「囲碁」、「民謡」等のサークル結成に向けた検討。

☆会員が趣味で行っている「家庭菜園」を、「シルバー農園」として出来る事がないか検討。

多くの方にセンターに足を運んでもらう事が名取市シルバー人材センターを知っていただく事に繋がるものとし積極的に実施します。

⑦新事務所建設に向けた具体的な取組

長年の懸案事項である事務所の老朽化に伴う建替え工事又は移転について今年度中に調整し、元気な高齢者が集う場所として相応しく、安心・安全・快適な拠点作りを、市ご当局と協議を重ね着手出来るよう努力します。

⑧財政基盤の確保

今年度より大幅に増加した補助金を適正かつ有効に活用し、新事務所への投資を優先にしながら、激変する社会情勢に対応すべく事務局体制の構築と、将来に向けた財政基盤を確立して参ります。

⑨社会貢献活動の拡充

補助金を頂いている団体として、名取市に対する社会貢献活動を実施して行くことが大切であり、ボランティア活動のほか、市民のためになるような身の丈に合った活動を積極的に行います。仕事は望まないが社会貢献を考えている高齢者の受け皿になるものと考えこの活動を広げて参ります。